

あとがき

前号は100頁を越える「JNDニュース」時代以来の大作(?)でしたが、本号はその反動で、これまでの1~2を競う薄いものになってしまいました。編集の都合上、多少のfluctuationは止もうえないとしても、両極端が続いたのは編集企画のまずさによるもので、今後の反省の材料にしたいと思います。ところで、本号では期せずして、田中さん・土橋さん・吉田さんからそれぞれ個性豊かな原稿をいただき、面白く読んでいただけるものになったと思っております。個性の強いものはとかく反論・異論を巻き起すもので、本誌としてもニュースをお伝えするばかりでなく、多くの話題を提供して議論の場をつくることも重要なものと考えておりますので、御感想・御意見等ありましたら是非とも被露していただきたいものと考えております。

本誌の編集・校正・発送に長い間協力していただき、また、シグマ研究委員会の事務局の1員として尽力して下さった大竹幸江さんは、今春、めでたくゴールインされ白井夫人となりました。また、このたび、核データセンターを去り動力炉開発・安全性研究管理部へ移ることになりました。核データセンター内の身内のことではありますが、ここで、長年の御苦勞を感謝するとともに、人生の新しい門出を祝福する次第です。なお、白井夫人の後任として、小池澄子さんが事務局の諸々の業務に当たってもらうことになりました。何れ本誌の編集の方も手伝ってもらいたいと思っております。

(浅見 哲夫)